

I 第22週の発生動向 (2013/5/27~2013/6/2)

1. インフルエンザについては、患者報告数は前週 172 人から 106 人に減少し、迅速診断キットによる型別では、B 型が A 型よりも多くなっています。(詳細については、**V 県内インフルエンザ情報**をご覧ください)
2. 水痘については、患者報告数が、前週の 23 人から 51 人に増加し、特にむつ保健所管内では注意報レベルに近くなっています。

II 第22週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ	16	1.2	20	1.3	32	2.3	15	2.1	16	1.8	7	1.2	106	1.7	-66			16	1.3
小児科 (74) RSウイルス感染症			2	0.2	4	0.4	1	0.2					7	0.2	-7				
小児科 (75) 咽頭結膜熱	6	0.8											6	0.1	-10			6	0.8
小児科 (76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.8	8	0.9	5	0.6			18	3.0	2	0.5	39	1.0	-12			6	0.8
小児科 (77) 感染性胃腸炎	47	5.9	24	2.7	16	1.8	4	0.8	12	2.0	13	3.3	116	2.8	-13			47	5.9
小児科 (78) 水痘	10	1.3	4	0.4	11	1.2	4	0.8	9	1.5	13	3.3	51	1.2	28			10	1.3
小児科 (79) 手足口病	1	0.1			9	1.0			10	1.7			20	0.5	13			1	0.1
小児科 (80) 伝染性紅斑			1	0.1									1	0.0	-2				
小児科 (81) 突発性発疹			5	0.6	2	0.2			13	2.2	4	1.0	24	0.6	2				
小児科 (82) 百日咳														0					
小児科 (83) ヘルパンギーナ									4	0.7			4	0.1	-4				
小児科 (84) 流行性耳下腺炎	2	0.3	4	0.4	1	0.1	3	0.6	1	0.2			11	0.3	3			2	0.3
眼科 (86) 急性出血性結膜炎					1	0.5							1	0.1	1				
眼科 (87) 流行性角結膜炎					6	3.0	3	3.0					9	0.8	1				
基幹 (92) クラミジア肺炎														0					
基幹 (93) 細菌性髄膜炎														0					
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	2	2.0					4	4.0	7	1.2	-4				
基幹 (96) 無菌性髄膜炎														0					

は警報 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患):青森市2人、弘前1人、八戸1人、上十三1人、五所川原1人、むつ1人、東地方1人(2013年計:133人)
- (39) つつが虫病(四類全数把握疾患):八戸1人(2013年計:3人)
- (63) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患):八戸1人(2013年計:2人)
- (73) 侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患):青森市1人(2013年計:1人)
- (79) 風しん(五類全数把握疾患):八戸1人、五所川原1人(2013年計:7人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上部気道炎患者4名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、4/19~4/26)・・・**ライノウイルス(HRV)**:弘前(3)、**アデノウイルス2型**:弘前(1)
- ・下気道炎患者4名(鼻汁、4/17~4/30)・・・**ヒトメタニューモウイルス**:八戸(1)、**HRV**:むつ(2)、八戸(1)

感染症の窓

風しん

(五類全数把握疾患)

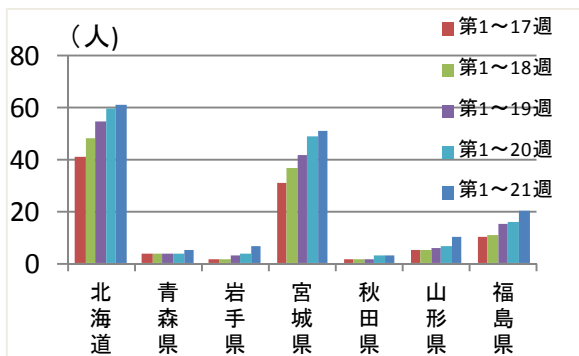


図 2013年累積報告数の推移

2013年の風しんの報告数は、2008年以降最高のペースで増えています。首都圏、近畿地方が主ですが、北海道、東北地方でも累積報告数は増加しています(図)。県内では、第22週までに7人報告されています。

患者の飛沫等に含まれるウイルスに感染すると、潜伏期間14~21日で、発熱、発疹、リンパ節腫脹などを呈しますが、症状のない不顕性感染もあります。風しんウイルスの排出は、発疹の出現前後約1週間とされますが、解熱すると激減します。

風しんの抗体がない、または抗体価の低い妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、胎児に先天性風しん症候群が起こる可能性があります。(参考:IDWR「感染症の話」)

予防にはワクチン接種ですが、妊娠中の女性は予防接種を受けられません。妊婦の周囲にいる方、妊娠の可能性があり、抗体価が十分であると確認できない女性は、ワクチン接種をご検討ください。実施については、市町村役場にお問い合わせください。

V 県内インフルエンザ情報

第22週の患者報告数は、106人で、迅速診断キットによる型別はA型22人、B型78人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

(人)

週	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方			1	1	1	1			2				
弘前	77	55	32	18	25	29	23	29	10	21	13	17	20
八戸	95	57	60	43	26	35	23	18	19	17	28	40	32
五所川原	64	36	33	16	27	15	16	31	29	35	37	42	15
上十三	32	55	39	23	17	8	4	27	48	47	58	36	16
むつ	42	71	52	17	18	10	6	25	28	20	38	11	7
青森市	143	98	120	55	38	9	54	75	62	69	56	26	16
合計	453	372	337	173	152	107	126	205	198	209	230	172	106

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方			1	1	1	1			1				
弘前	77	55	32	17	24	22	19	13	3	5			
八戸	87	52	55	35	22	29	21	12	11	11	16	18	21
五所川原	64	35	33	16	27	15	16	29	14	7	1	2	
上十三	31	52	36	21	17	6	3	23	26	21	18		
むつ	42	71	52	16	17	9	4	6	7	2	2	1	
青森市	133	84	116	48	35	6	7	2	1	8	4		1
合計	434	349	325	154	143	88	70	85	63	54	41	21	22

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方									1				
弘前				1	1	7	4	16	7	16	13	17	20
八戸	3	5	5	7	4	5	2	6	6	6	12	21	8
五所川原		1						2	15	28	36	40	15
上十三		2	1	2		2	1	3	20	25	39	35	15
むつ				1	1	1	2	9	21	18	37	10	7
青森市	8	9	2	5	2	3	45	69	59	58	52	24	13
合計	11	17	8	16	8	18	54	105	129	151	189	147	78

年齢区分別

週	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
～5ヶ月	1	2						1				1	
～11ヶ月	11	6	5	1			1	2	3	1	3	3	1
1歳	19	19	17	7	9	3	6	5	11	6	5	2	6
2歳	18	26	20	6	9	8	6	2	6	5	5	5	6
3歳	20	19	15	6	6	5	6	7	7	12	7	6	4
4歳	31	34	25	15	7	12	7	12	7	9	11	17	6
5歳	24	34	23	6	3	5	3	14	8	19	7	9	6
6歳	39	21	18	9	8	3	12	19	11	7	25	9	7
7歳	18	19	18	8	5	6	18	22	15	10	14	13	10
8歳	14	23	16	7	8	3	16	13	19	14	14	10	5
9歳	22	12	8	5	4	1	4	12	13	11	13	8	6
10～14歳	52	27	44	23	6	10	20	40	48	55	84	61	27
15～19歳	17	12	6	4	1	7		2	2	6	7	2	7
20～29歳	23	16	12	11	11	10	4	3	4	7	4		
30～39歳	34	23	28	14	11	2	5	12	18	14	9	10	4
40～49歳	27	20	23	15	18	11	4	12	10	9	9	8	4
50～59歳	34	19	14	12	10	5	1	8	2	8	5	3	4
60～69歳	23	13	19	11	8	4	4	7	5	6	1	4	2
70～79歳	10	9	12	4	9	7	5	2	4	3	3	1	
80歳以上	16	18	14	9	19	5	4	10	5	7	4		1

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第6～第21週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
6	H25.2.4 ~ H25.2.10	腸管出血性大腸菌感染症1人					
7	H25.2.11 ~ H25.2.17						
8	H25.2.18 ~ H25.2.24						
9	H25.2.25 ~ H25.3.3						
10	H25.3.4 ~ H25.3.10				レジオネラ症 1人		E型肝炎 1人
11	H25.3.11 ~ H25.3.17	風しん 1人					
12	H25.3.18 ~ H25.3.24		腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31		腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	腸管出血性大腸菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	風しん1人
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	後天性免疫不全症候群1人	急性脳炎1人			風しん1人	
18	H25.4.29 ~ H25.5.5			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
19	H25.5.6 ~ H25.5.12						
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫1人		つつが虫1人 風しん1人	

VII 結核(二類全数把握疾患)

2013年第6週～第21週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
6	H25.2.4 ~ H25.2.10	1	3	1		1	
7	H25.2.11 ~ H25.2.17	1	2	1	1	1	
8	H25.2.18 ~ H25.2.24		1	2	1	1	
9	H25.2.25 ~ H25.3.3		3				
10	H25.3.4 ~ H25.3.10		1		1		
11	H25.3.11 ~ H25.3.17		2		1		
12	H25.3.18 ~ H25.3.24	1	2		1		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31	1	8	2			
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	2	1			1	
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		5	3	4	2	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21	3	3	1	2	1	
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	2	4	2			
18	H25.4.29 ~ H25.5.5	1	2	2	1		2
19	H25.5.6 ~ H25.5.12	2	2	2	1	1	
20	H25.5.13 ~ H25.5.19			2	1	1	1
21	H25.5.20 ~ H25.5.26			2			

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

(2013年第1週～第20週累計)

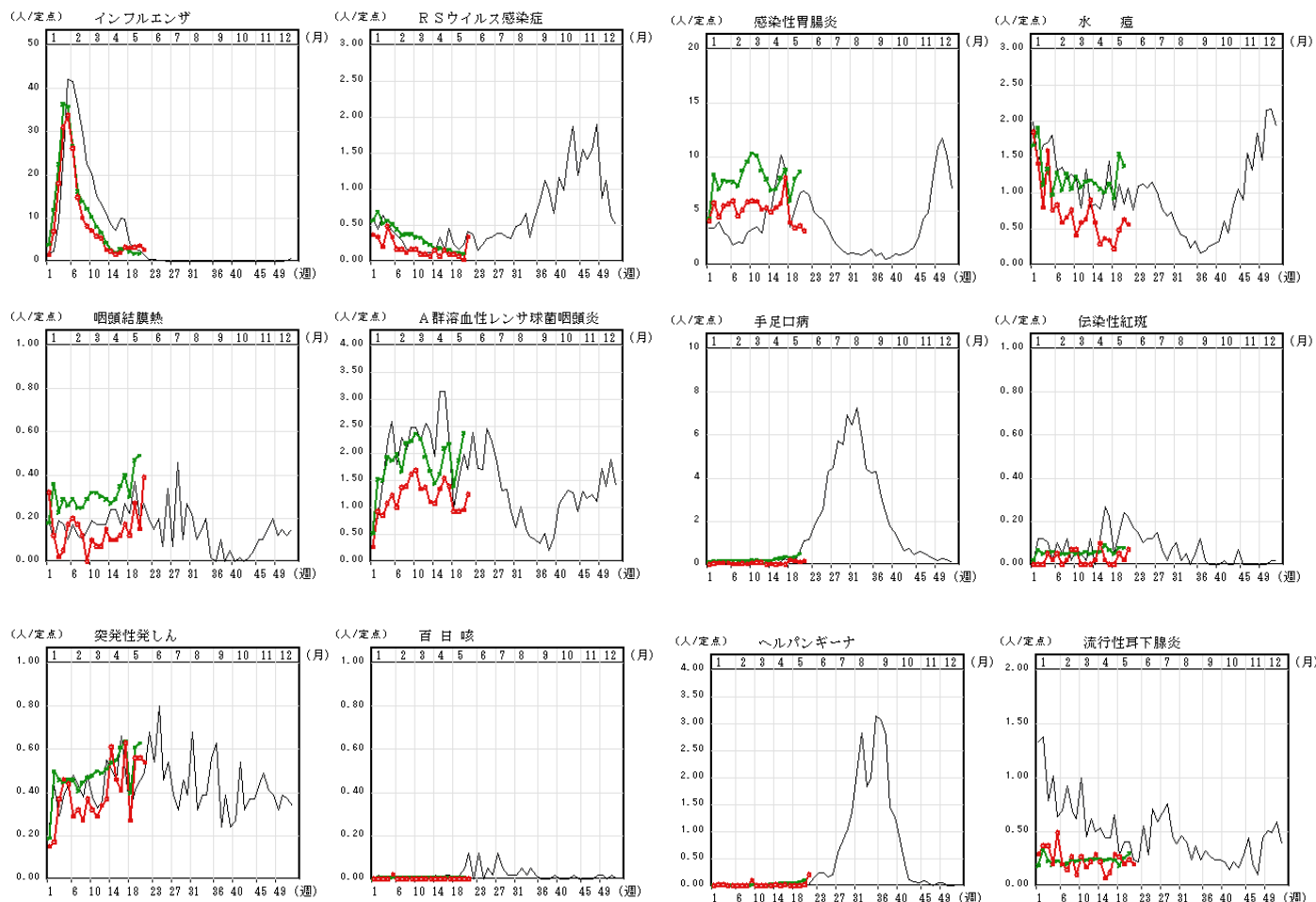
	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオチフス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	ライム病	類鼻疽
全国	9204	1	46	285	26	24	49	61	7	4	2	2	12	6	53	62	5	1	17	1	2
青森県	129	0	0	16	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	ハンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎菌性髄膜炎	
全国	248	3	358	95	168	1	66	80	512	29	18	6	240	5	389	38	26	7540	133	2	
青森県	1	0	0	0	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

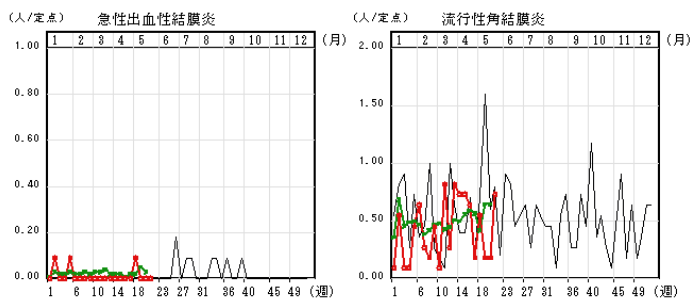
2013年第21週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、 —は2012年青森県、 ×—×は2013年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第21週



XI 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第21週

